

自衛隊装甲車の公道での自走訓練はやめよ!!

どうしても強行するなら市が騒音・振動の測定を行え!!

8月31日、釧路町の自衛隊駐屯地から釧路西港までの区間、国道・道道・市道を使って、自衛隊装甲車両11両を含め、車両32両の自走訓練が行われました。釧路市を通過したのは夜10時ごろ。深夜の静けさの中で轟音をまきちらし、砲身を丸出しにした異様な訓練でした。村上かずしげ議員は、当日、深夜の訓練への抗議行動（釧路町ホーマック前）に参加、9月9・10日の市議会総務文教常任委員会でも、厳しく追及しました。



155 ミリ自走式りゅう弾砲
出典: フリー百科事典『Wikipedia』

公道自走訓練は、今年で3年連続。自衛隊の装甲車両が、市内のど真ん中を武装のまま走行。西港からは船で苦小牧へ。苦小牧から東千歳駐屯地まで、再度、自走訓練を繰り返すなど、遠隔地への武装したままの移動訓練です。

いくつかのグループに分けて走行するため、訓練は長時間に及びました。

村上議員は、「コロナ禍のもとでは中止を米海兵隊の移転訓練も中止になった。一番避けるべきは大人数での遠距離移動。この訓練は行うべきではなかった。二度と公道を使った自走訓練はするな。」と迫りました。しかし、市は訓練に抗議したり、中止を求める意思は一切ありませんでした。

戦車や155ミリりゅう弾砲が通る過ぎるたびに、地響きのような轟音・振動が、住宅街まで響きました。愛国の方は、「昨年『何事か?』と近所の方が窓を開けたり、表に飛び出して騒ぎになりました。今年も自宅の窓は閉めていましたがすごい音。とても休んでなどいられませんでした。」と話しています。低速で、

苦小牧市では、市が独自に騒音・振動を計測し、HPに公開、基準値を超えたら是正を求めます。

実は同じ訓練を行っている苦小牧市では、自走訓練時に、

- ① 定点で騒音と振動を計測。
- ② 測定結果をホームページで公開。
- ③ 騒音・振動の環境基準値を超えたら自衛隊に是正を要求。

の3つを継続的に取り組んでいます。

「訓練に賛成でも、市民の安全・安心のためにこのぐらいはできるはず。」「市の担当者も騒音が心配で、事前に騒音対策を自衛隊に要請し、当日も異常な騒音はないか、現地にかけて自分の耳で確認している。

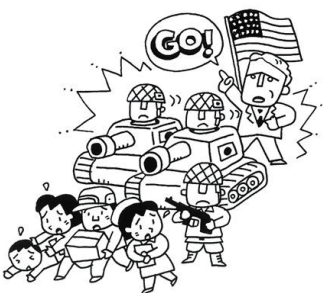
ならば、ハンディ騒音測定器を持っていけばいいのではないか。」と強く求めました。

同じ保守市政の

苦小牧市でもやっていることさえ、

蝦名市長はかたくなに拒否。しかも、

市民からは騒音の苦情も来ていないと強弁する始末です。



「コロナ禍のもとでは中止を」